さくら新聞

発行者：
下関深坂さくら友の会
下関市横野町1-13-1
TEL:083-258-3277
http://www.dion.ne.jp/yasuokao/~sakura

NPO法人化、スタート
― 新春の臨時総会で可決 ―

一月十一日（日）、深坂の「森の家」で午前九時から臨時総会が開かれた。小雪舞う寒い中、四十二名が出席した。会員百五十一名中、委任状提出者七十一名。

執行部提案のＮＰＯ法人化の議案を原案通り可決承認して十時半に閉会した。

その後昼食までの一時間半を、展望台付近の倒木や、枯枝の整理片付け作業を行った。

昼食には、温かい豚汁と会員の津田さん提供のオニギリが美味しく、身も心も温かくなって解散した。

（左は総会の議案書の一部）

第１号議案	議長の選任について
	議事録作成者　選任
第２号議案	特定非営利活動法人下関深坂さくら友の会の設立について
第３号議案	特定非営利活動促進法第２条第２項第２号及び法第 12 条第１項第３号に該当することの確認について
第４号議案	役員の選任について
第５号議案	設立代表者の選任について
第６号議案	定款について
第７号議案	事業計画及び収支予算について
第８号議案	議事録署名人の選任について

明けまして おめでとうございます

会長　福冨征男

「さくら友の会」が間もなく設立三年になります。金融危機で世界中が未曾有の危機に遭遇しており、会員の中にも多くの不安を抱えている方がおられるでしょう。しかし、心配してもどうにもならない時があります。そういう時は、深坂の桜を思い出しましょう。じっと耐えて春を待っているけなげな桜たち。わたしも此れに習って、できることを黙々としながら時期を待つつもりです。今年はさくら友の会をＮＰＯ法人化する年になります。すでに一月十一日、臨時総会が開かれ、法人化の議案が可決承認されました。これを機会に、新たな会員が増えることを期待しています。

若者や、子供達の明るい声が深坂の森にこだますることを想像するだけで、新年が明るい気持ちで迎えられました。みなさまと深坂の森でお会いするのを楽しみにしています。

趣意書要約

さくら友の会は、設立から3年になります。

さくらを中心に、施肥、草刈等の活動を続けて参りました。

さくらの木々も年々、見違えるような成長をみせ、美しい花を咲かせるようになりました。会員の皆さまの献身的な作業に感謝申し上げます。

しかし今後、この事業を継続していくには、まず会員の高齢化という大きな問題があります。この問題を克服するには、将来を担う方々の参加が必須であります。

そのためには、

① ひろく一般市民に呼びかけ、みんなの手で〝深坂自然の森〟を「市民の理想の里山」に育て、夢を共有できるようにしていくこと。

② この会をＮＰＯ法人（特定非営利活動法人）とすること。ＮＰＯ法人になれば、一定の規則に従がい、報告を義務付けられますが、これによって、透明性が保たれ、信用が得られ、知名度もあがります。信頼して加入していただけます。また寄付なども受けやすくなります。社会的責任として、年に7万円の税負担が伴いますが、それを上回る補助金が見込まれます。

我々が培ってきた熱い想いを、次世代に引き継ぐためにはＮＰＯ法人化はもっとも必要なことであります。ご理解を賜りたいと思います。

定款の抜粋

（目的）

第３条　この法人は、「深坂自然の森」を市民及び周辺地域の人々に対して、皆が集える理想の里山とするために、桜をはじめ樹木の維持管理、山野草の観察学習、自然との関わりを持ちながら、地域及び他団体と交流し、環境保全の意識高揚を図る事業を行い、町づくりと地域活性化に寄与することを目的とする。

総会後、作業、そしてトン汁で会食。

桜四方山

昨年の「深坂さくらえ」は、第一回目であったが、苦労した甲斐があって好評だった。

その打ち上げ会の時、一杯入った面々が、諸所の桜自慢を始めた。取り分け下関響灘ライオンズクラブの方々は、前に韓国の鎮海（ちんかい、韓国ではチネ）の桜を見たことがあり、その見事さに驚き、感激した記憶が脳裏に焼きついているようだ。「市内全部が桜、桜、桜、市の人口よりも桜の方が多い。三十四万本位あるとか。日露戦争のとき、東郷元帥率いる連合艦隊は、鎮海から出撃したとか。その海軍が十万本を植えたのが始まりだとか。戦後、日本の象徴の桜を切ってしまえと言われて、だいぶ斬られてオンドルの燃料にされたとか。その後再び桜の植樹運動が起こって、それを知る在日韓国人や日本人からも寄付が寄せられて、今の世界的名所になったのだとか。」そしてツァーを組んで見に行こうと言うことになった。しかし、日本の吉野の桜を差し置いて、最初から外国に行くのは如何なものかと言うことになり、平成二十一年は、吉野の桜の見学ツアーを実行することになった。吉野は？見てのお楽しみとしておこう！

お断り、一月中旬発行予定が、ＰＣ受難、データが失われて発行が遅れました。お詫びします。

年間活動の記録　（２００９年７～１２月）

七月十三日　総会

二〇〇八年度総会が開かれた。森の家の屋内は他のグループが使用しているので、外で会議をした。総会ではあるが、準備された資料によって、しゃんしゃん総会に近い。楽しい笑いのうちにさっさと終わった。二〇分である。とはいえ、これから草刈作業をする。そして、お昼はバーベキューが用意されている。

コスチュームを紹介しよう。総会といえども、背広ネクタイではない。腰には蚊取り線香、日よけ帽の上に、更に被られた「さくら友の会」の帽子が注目だ。心構えが違う。レディーといえども、やる気満々である。

九月十四日定例会

四十二名が参加。桜の木にはクズがいっぱい絡み付いており、この日は暑い中での蔦払い。

作業後は冷そうめんを食べながら、その日見かけた植物の説明がある。

この頃は毎回、植物の好きな平野正さんが、その季節の植物を手に説明があって、これが好評である。これは、オニドコロ。ヤマイモとの違い、見分け方など説明があった。

十一月九日定例会

この日は、草刈、ゴミ集め、ネームプレート付けが行われた。この日新しく買った備品の紹介があった。枝を落としたり、倒木を整理するのに欲しかったチェーンソーです。松枯れの松の整理にも活躍することでしょう。

そして、この日集めたゴミは写真の通り、集めたゴミは分別します。

奇麗になったところには捨て難いのかだんだんゴミを棄てなくなるようです。

一月十一日　臨時総会

臨時総会の後、展望台の足元の枯枝の整理に出かけた。写真はそのビフォー、アフターだ。人海戦術だが、短時間のうちに見事なものだ。アフターの写真に見られる土の塊は太い風倒木の根が現れているものだ。この付近に二、三本がこういう状態だった。心は桜に注がれているが、深坂の森に入る機会が多くなると、雑草を刈ればゴミが目立ち、ゴミを片付けると枯れ木や枯枝が目立つ。根競べだが、負けるものかというファイトが湧いてくる。これも良き仲間がいるからだろう。

下関深坂さくら友の会　研修旅行

行き先　吉野山の桜

旅費　一人 24,000 円（特２等背船室）
昼食１回（1,575 円相当）、朝食２回（船内）、旅行障害保険含む
＊夕食は含まれません（自由）

行程　4 月 10 日(金)～12 日(日)
名門大洋フェリー
4 月 10 日(金) 新門司港（19:50 発）、
11 日大阪南港(8:20 着　8:40 発)貸切バス（ガイド付）、吉野山（桜鑑賞 11:00～16:00）、大阪南港(18:30 着～19:50 発)
12 日(日)新門司港(8:20 着)
皆さん一緒に桜を鑑賞しましょう。

申込み締切日

先着 40 名様（残り少ないので希望者はお急ぎ下さい。）

申込み先　下関深坂さくら友の会
〒759-6604 下関市横野町１-13-１
TEL　083-258-3277

深坂遊歩

好きなポイントを紹介します

フユノハナワラビ（ハナヤスリ科ハナワラビ属）

深坂の森で遊歩道を歩いていると、ときどき町ではあまり見かけない植物に出会える。左の写真はフユノハナワラビである。秋から冬の間花が咲く。花が実際に咲いて居るのを見るのは初めてだ。日本全国に分布すると言うから、そう珍しくないのかもしれないが、一部に愛好家もいるらしい。値段がつくそうだ。これは草を刈らなければ出ないと言うから、これも、日頃の草刈作業の賜物だろう。

ハナワラビと言うが花ではなく、胞子嚢だそうだ。（十一月九日写）